

# 民間活力を活かした飾磨中央公園再整備方針【概要版】

## 1 はじめに

公園内で行う民間事業（カフェ等）で得られる収益の一部を公園整備等に還元する公募設置管理制度（Park-PFI）が創設され、魅力的な公園が各地で誕生している。市民アンケートでは公園に木陰・季節感を求める声が多数。

### ■公募設置管理制度（Park-PFI）について（2017年創設）

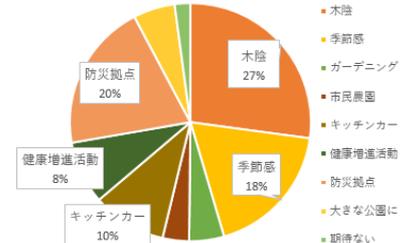


### ■全国のPark-PFI活用状況



### ■アンケート調査の結果（R4・市民全体）

身近にある小さな公園に求める機能改善案



右写真：  
神戸市東遊園地  
（神戸市ホーム  
ページより）



## 2 現状と課題

供用開始28年目に区画整理事業によりリニューアル。改装後12年目だが多くの利用により遊具の傷みが早い。グラウンド利用は特定の利用者に固定化。高いフェンスに囲まれ公園としての一体感に欠ける。

活発に利用される遊具  
→ 12年目にしては劣化が早い  
遊具の対象年齢が高い  
→ 幼児の遊びの幅が限られる



機能が十分でない公衆トイレ  
便器は和式



日差しや雨をしのげる居場所がない



フェンスに囲まれ閉鎖的なグラウンド  
利用者は固定化



出典：姫路市撮影の空中写真（令和2年撮影）

## 3 再整備方針

（本市が目指す都市像や公園の姿、市民アンケートの結果等を踏まえ、再整備のコンセプトを次のとおり設定。）

～ひと・まち・ときを紡ぐ未来への公園～

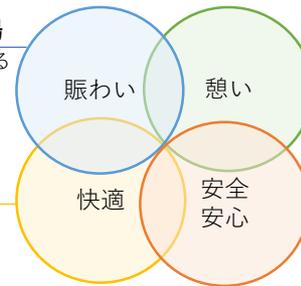
CROSS PARK

### 多世代が集い、交流する場

- ・イベントやスポーツを楽しめる
- ・地域交流を楽しめる
- ・飲食を楽しめる

### みんなの憩いの場

- ・多様に活用できる芝生広場
- ・一体感のある開放的な空間
- ・ゆっくり休憩できる空間



### 快適に利用できる場

- ・トイレ等を快適に利用できる
- ・季節・天候問わず利用できる
- ・木陰・日陰でくつろげる

### 安全・安心に利用できる場

- ・子ども達が安全に遊べる
- ・子育て世代が安心できる
- ・災害時に活用できる

## 4 再整備イメージ

（カフェやレストラン、市民が集える休養・運動施設等を民間活力を生かして設置することで、緑地空間やトイレを含めた公園の上質化を図り、賑わいと憩いがある空間へ生まれ変わらせる。）

※下のイメージ図は、一例として再整備方針を図化したものです。民間事業者のみならずからいただき、再整備方針をよりよく実現するための提案を基に、整備内容や整備時期を決定していきます。

